

医学研究に関するお知らせ

金沢医科大学 小児科 講師 伊藤 順庸

私たちは「偽性副甲状腺機能低下症 1 型(PHP1)の中～長期的診療の実態の検討」という医学研究を実施しています。研究概要は以下のとおりです。

研究課題名 偽性副甲状腺機能低下症 1 型(PHP1)の中～長期的診療の実態の検討

研究対象者 2012 年 4 月 1 日～2017 年 3 月 31 日の期間に偽性副甲状腺機能低下 1 型で当院を受診された患者さん

研究の意義・目的

偽性副甲状腺機能低下症 1 型は約 30 万人に 1 人の稀な疾患で、1.低カルシウム血症、高リン血症などの副甲状腺機能低下症状、2.副甲状腺ホルモン高値、および 3.副甲状腺ホルモンの組織反応性低下に特徴づけられる先天性疾患です。原因は細胞内での情報伝達を司る $G\alpha_s$ タンパクをコードする GNAS 遺伝子の異常、あるいはその発現調節異常により発症します。

本研究の目的は、偽性副甲状腺機能低下症 1 型の治療、特に治療経過中の副甲状腺ホルモンがなす役割について解析し、今後の偽性副甲状腺機能低下症 1 型治療の改善や予後予測因子を見出すことを目的としています。

研究の方法・研究に用いる情報の種類

本研究は、当院と、他施設の研究機関に参加していただき実施する「多施設共同研究」です。上記期間中に当院と参加施設から患者さんの治療情報等(下記参照)を電子カルテ等から収集し解析します。本研究のために新たに行う検査等はありません。

データ収集方法は、個人を特定できる情報を削除し、新たに番号を付番し、データを作成します。データの入ったファイルはパスワードをかけた状態で電子メールにて研究代表研究機関(当院)に送付されます。従って、解析者は誰のデータかわからない状態で解析を行います。

【収集するデータ】 生年月日、病歴、治療歴、副作用等の発生状況、血液検査結果、PTH 以外のホルモン不応症等

研究代表機関 金沢医科大学

研究に関するお問い合わせについて

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

金沢医科大学 小児科 講師 伊藤 順庸

住所 〒920-0293 石川県河北郡内灘町大学 1-1

電話 076-218-8133

【研究参加施設および責任者(予定)】

千葉大学医学部附属病院 小児科 高谷具純

信州大学医学部附属病院 小児科 原洋祐

群馬大学医学部附属病院 小児科 大津義晃

東京大学医学部附属病院 小児科 磯島豪

札幌医科大学医学部附属病院 小児科 鎌崎穂高

東京医科歯科大学医学部附属病院 小児科 鹿島田健一

旭川大学医学部附属病院 小児科 鈴木滋

金沢大学医学部附属病院 小児科 岡島道子

新潟大学医学部附属病院 小児科 長崎 啓祐

※今後は追加される場合があります。